

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
09:50-10:30	キマイラの実在の再現——アリストテレスのアイデア数批判——	スピノザの哲学における本質の問題	/	エコーとしての実体的紐帯：後期ライプニッツにおける複合実体の問題	「不断の接近か無限の接近か」——ドイツ観念論における問いとして	「覚と創造」久松真一の『茶道の哲学』
	西岡千尋	柴田健志		三浦隼暉	鈴木亮三	松本きみゑ
司会	稲村一隆	鈴木泉		米虫正巳	美濃部仁	太田裕信
5分休憩						
10:35-11:15	アリストテレス『形而上学』の無矛盾律論	自由と予定：クリストフ・ウィティキウス『神の現実的摂理』におけるデカルト解釈	趣味判断と超感性的基体：「感性的判断力の弁証論」の体系的意義の解明	ライプニッツにおける「進歩」について	Facets of Kant's Metaphysics of Freedom	京都学派の政治哲学
	杉本英太	坂本邦暢	青井興太郎	今野諒子	エアトル ヴォルフガング	岩井洋子
司会	近藤智彦	鈴木泉	城戸淳	稲岡大志	古荘真敬	太田裕信
5分休憩						
11:20-12:00	/	抵抗と赦し——『全体性と無限』における繁殖性の二元性	フッサールとシュレーダー	カント哲学における善悪の「抗争」モデル	永遠回帰における「決断」の可能性——ハイデガーのニーチェ解釈を「存在史的思索」から読み解く	西田「行為的直観」の有限化 共通感覚の形成という観点から
		石井雅巳	植村玄輝 秋吉亮太	森良太	小林昌平	足立恵理子
司会		加國尚志	長坂真澄	山田有希子	古荘真敬	竹花洋佑
昼休憩						
13:10-13:50	法的判断の正しさと真理の整合説、そして問答	ミシェル・セールにおける第三項tiers概念の複数性	カント批判哲学と「規定」の問題	ヘーゲルのカント批判を再考する	デカルトと懐疑論の問題を再考する	九鬼周造の偶然論における二つの次元の可能性の調和 偶然性から必然性へ展開する動的構造に対する研究の着手点として
	早瀬勝明	縣由衣子	道下拓哉	山蔦真之	筒井一穂	黄璐
司会	福間聡	加國尚志	中野裕考	山田有希子	村山達也	竹花洋佑

*発表25分／質疑15分を目安とする。

※タイムテーブル最新版は学会ウェブサイトでご確認ください。